

平成 20 年度社団法人音楽電子事業協会 事業報告

(理事会 三役会 運営委員会)

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会の開催

1 平成 20 年度第 1 回理事会 (平成 20 年 5 月 15 日開催)

- ・ 社団法人音楽電子事業協会「第 12 回通常総会議案書」の承認
- ・ 平成 19 年度収支決算承認及び総会への付議、承認
- ・ 平成 20 年度収支予算 (案) の審議と総会への付議、承認
- ・ 平成 20 年度役員改選と総会への付議、承認
- ・ 内部規則「入退会実施細則」追加承認
- ・ 著作権・ソフト委員会委員長及び MMI 推進プロジェクトリーダー承認
- ・ パイオニア株式会社の入会審議承認
- ・ その他 報告

2 平成 20 年度第 2 回理事会 (平成 21 年 3 月 26 日開催)

- ・ 平成 20 年度事業報告案及び収支決算見込案の審議
- ・ 平成 21 年度事業計画案及び事業予算案の審議
- ・ MIDI 規格委員会参加にあたり IP ポリシーの制定と誓約書提出の審議と承認
- ・ 第 13 回通常総会開催及び付議事項の審議

3 書面審議

- ・ 7 月 18 日 株式会社スリックの入会が審議承認された
- ・ 10 月 30 日 ビープラッツ株式会社の入会が審議承認された

(2) 運営委員会

平成 20 年度 運営委員会 開催 (平成 21 年 2 月 18 日)

- ・ 平成 20 年度事業報告が各委員会から報告、検討された。
- ・ 平成 20 年度収支着地見込み案を事務局から提案、検討された。
- ・ 平成 21 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会から提案され、検討された。
- ・ 平成 20 年度事業計画案に基づき、平成 19 年度収支予算案が検討された。
- ・ 平成 21 年度第 1 回理事会、及び第 13 回通常総会の予定 (5 月 14 日) が案内された。
- ・ 社団の方向性 (公益社団か一般社団) の研究をする WG を運営委員会に設置する事とした。

平成 20 年度社団法人音楽電子事業協会事業報告
(専門委員会)

平成 20 年 4 月 1 日より平成 21 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品・安全環境委員会

正副委員長会議 2 回、安全規格部会 6 回、環境問題研究部会 5 回、部会合同全体会議を 1 回実施した。

- ・ 安全規格部会は、「安全規格」「EMC」「省エネルギー規制」をテーマに各社による情報収集及び提供により、各社での製品安全活動に活かされた。又、安全規格の技術解釈の向上を目的としての WG 活動を行った。自主依頼試験を 1 回実施、外部委員会活動にも取り組んだ。
- ・ 環境問題研究部会は国内外の環境に関する法の動向調査及び情報交換を行うと共に、外部委員会（グリーン調達調査共通化協議会）に参加した。
又、「世界の化学物質管理の規制動向～REACH 規制を中心に～」をテーマに 9 月 29 日にセミナーを約 60 名の参加者により開催した。

(2) MIDI 規格委員会

委員会 2 回、MMA との合同会議 4 回、技術研究部会 10 回、MIDI1.0 部会 3 回を実施。

MIDI 規格委員会参加のための IP ポリシー締結に向け「誓約書」の最終案が検討された。

透かし推進プロジェクトで進める、ISMC コードの RP 化への協力、及び MMI 推進プロジェクトへの支援をおこなった。

2009 年 1 月に NAMM2009 ビジネスツアーを主催し、11 名の参加者で実施した。

- ・ MIDI1.0 部会では、MIDI を用いて演奏パフォーマンスと映像を結び付ける Visual Connect（仮称）およびその他の RP 案について討議をおこなった。Visual Connect は一通りの審議を終え、2009 年 4 月に RP 化予定。
- ・ 技術研究部会は、部会の目的である「音楽や電子楽器に関するさまざまな技術について検討を行い、現状の問題点の解決及び将来の音楽事業に貢献する」を基に以下の議題について議論を行った。
 - ・ 次期プロトコル (HD Protocol) の技術検討
 - ・ VLM の詳細検討、MIDI1.0 との相互変換
 - ・ MPP (Multi Parameter Packet) についての検討

さらに、“技術的視点から分類した顧客視点での魅力のまとめ”など、マーケティング企画向け資料の作成も開始した。

(3) MMI 推進プロジェクト

- ・ 使用準拠を証明するロゴの商標登録済み、ロゴ適用ガイドラインを策定。
- ・ 携帯公式アプリ採用を目指し活動をした。～見送り。
- ・ 第 1 回 MMI 推進プロジェクトを 3 月 5 日にたち上げ、MMI の QWERTY 対応について協議をした。

(4) 著作権・ソフト委員会

著作権・ソフト委員会定例会 11回、正副委員長・部会長会議 1回、カラオケ部会 25回 (JASRAC、イーライセンスとの協議を含む)、音楽配信部会 (NMRC を通じての活動 : JASRAC 他管理事業者との協議、関連団体との意見交換を含む) 36回、ソフト規格部会 (GCP-WG、DMN-WG) 11回を開催した。委員会定例会を通じ情報提供、意見交換を行った。各部会は各々の領域において活発な活動を行った。

平成 20 年度著作権・ソフト委員会実施内要

日時	主たるテーマ	備考
4月10日 (13:30~14:30)	1. 新体制スタート : 委員長、副委員長挨拶 2. 「有期限動画ダウンロード許諾開始」 (音楽 PV のみ) 3. 各部会長報告	「電子楽器保護に関する統一見解リリース」 (4/25)
5月8日 (13:30~14:45)	1. (音楽以外の著作物を利用する事を主たる目的として配信する場合の) 商用配信規定に関する WG 報告 2. MPA 及びストリーム按分協議について 3. 各部会報告 (業務用通信カラオケ、外国曲楽譜について)	正副委員長会議 (5/2)
6月12日 (13:30~14:45)	1. 業務用通信カラオケ協議 (JASRAC と合意) 2. カラオケ関連団体連絡会について NMRC 拡大実務 : フォーマットに関する各スタディグループについて	GCP-WG~ミュージックトレード取材
7月10日 (13:30~14:45)	1. WG1(出版業界歌詞 WG)について 2. ストリーム按分協議について 3. 各部会報告、WG 進捗状況報告	
9月11日 (13:30~14:45)	1. 韓国楽曲管理除外について 2. イーライセンスの規定改定について 3. 各部会報告、WG 進捗状況報告	8/4 カラオケ関連団体文化庁と JASRAC に意見書提出 8/29 原盤報告フォーマット中間説明会
10月9日 (13:30~14:30)	1. 韓国楽曲/KOMCA 関連にて文化庁、JASRAC 訪問の件 (カラオケ部会) 2. 各部会報告、WG 進捗状況報告	
11月13日 (13:30~14:30)	1. JASRAC サブスクリプションモデル下支えの読み替え及び請求開始について 2. 新管理事業者アイ・シー・エージェンシーについて 3. 各部会報告、WG 進捗状況報告	GCP-WG 警告書発送
12月11日 (15:30~16:30)	1. 音楽配信各種フォーマットについて 2. JRC 規定改定協議について 3. ストリーム按分について 4. 各部会報告、WG 進捗状況報告	忘年懇親会 (参加 70 名) 12/18「音楽配信に係る各種フォーマット案説明会」 (渋谷 FORUMU8)
1月8日 (13:30~15:00)	1. 戸叶委員長より年始の挨拶 2. JRC 協議について 3. GCP-WG 問題サイトの動向について 4. 各部会報告、WG 進捗状況報告	
2月12日 (13:30~15:00)	1. 電子出版「歌詞部分使用」について 2. JASRAC 業務用通信カラオケ規定一部変更について 3. 各部会報告、WG 進捗状況報告	
3月12日 (13:30~15:00)	1. 著作権情報処理機構について 2. JRC 協議について 3. 民各部会報告、WG 進捗状況報告	3/6 CDC 設立総会、記者発表 3/18 カラオケ関連団体文化庁へ再上申

- ・ カラオケ部会
 1. JASRAC と使用料規程の見直しに関する協議を行い合意。詳細は今後も協議を継続する。
 2. イーライセンスと業務用通信カラオケ規程に関し継続協議中。
 3. 「カラオケに係わる音楽著作権管理に関する情報交換会」にて文化庁に意見書提出（2回）
 4. 民生用カラオケ WG にて JASRAC を含め情報交換及び意見交換。
- ・ 音楽配信部会

NMRC を通じて

 1. JASRAC との合意事項
 - ・ 音声番組における音楽 PV の取り扱いについて
 - ・ 携帯電話サブスクリプションの下支えの読み替え
 - ・ 同期歌詞配信の取り扱いについて
 2. JASRAC との「音楽以外の著作物を主たる配信目的とする商用配信規定の見直し」についての WG の進捗状況
 - ・ WG1（電子出版）：「歌詞の部分使用」についての JASRAC よりの提案あり。
 - ・ WG2(動画)：進展なし。
 - ・ WG3（ゲーム・教育）：WG 内意見交換中。
 3. イーライセンスとの規定変更合意（10月より新規定）
 4. JRC 規定変更合意（4月より新規定予定）、運用部分の詳細については協議を継続
 5. 新管理事業者アイ・シー・エージェンシーと規定に関する意見交換
 6. ストリーム按分（2006年4月—2008年3月末）合意（JASRAC とは今後の協議）
 7. NMRC 拡大実務 WG
 - ・ MPA との 4 つのスタディグループ（原盤利用標準フォーマット、メタデータ フォーマット、標準契約書フォーマット普及）によりほぼ最終案までまとまる。
 - ・ 今春リリース予定。
 - ・ 12月18日 渋谷 FORUM8 にて「音楽配信に関する各種標準フォーマット案説明会」を約 100 名の参加のもとに実施。
- ・ ソフト規格部会
 1. GCP-WG（電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する WG）
 - ・ AMEI 統一見解をニュースリリース及び AMEI の HP に公開（4月28日）
 - ・ 上記統一見解を関連団体等に報告と協力依頼
 - ・ 「ミュージックトレード誌（2008年7月号）」に記事掲載
 - ・ 音色波形データの無許諾販売業者に警告状を送付し、ネット販売を停止させた
 2. DMN-WG（インタラクティブ配信に於ける演奏データの可視的利用に関する WG）
 - ・ JASRAC を訪問し外国作品の楽譜の強制許諾を要望（11月6日）
 - ・ 上記要望を NMRC 案件として取り上げる事を NMRC に要請（12月1日）
 - NMRC 案件として承認された

- ・ その他特記事項
 1. 早稲田大学寄附講座
 - ・ 早稲田大学 創造理工 知財・産業社会政策領域（森康晃 教授）の講座を担当
 - ・ AMEI、朝日新聞、JASRAC 国際部から講師を派遣
 2. 一般社団法人 著作権情報集中処理機構（CDC）
 - ・ 会員企業が問題として抱えている配信に伴う楽曲の権利管理情報調査実務の軽減を旨とし NMRC を通じ CDC の立上げを支援した

(5) 透かし推進プロジェクト

- ・ エンコーダーのハードウェアキーを RS232C から USB 対応に移行を実施
- ・ MIDIsign の Ver2.0 のリリースを決定
- ・ ISMC 規格の RP 化を MMA に提案
- ・ JRC と DRM 技術として MIDIsign を承認する件について協議（継続中）

(6) メディアコンテンツ委員会

- ・ 映像に関するセミナーを開催計画していたが、Visual Connect(仮称) : MIDI による映像制御プロトコルの RP 化を待ち、実施する事としたため、今年度実施は見送った。

(7) MIDI 検定委員会（検定試験の推移は次頁参照）

- ・ MIDI 検定委員会を 4 回開催した
- ・ 第 11 回 3 級試験と第 10 回 2 級筆記試験を実施（12 月 7 日）
- ・ 第 10 回 2 級実技試験の実施（2 月 14 日から 3 月 1 日までの延べ 6 日間、東京・大阪にて）
- ・ 4 級試験を年間を通して実施（700 名の見込み）
- ・ 指導者認定講座の実施
 4 級指導者認定講座：受講者 69 名 3 級指導者認定講座：受講者 49 名
 2 級筆記指導者認定講座：受講者 45 名 2 級実技指導者認定講座（新設）：受講者 131 名
- ・ 1 級実技試験 今年度実施に向け検討したが、更に検討を要する為次年度に継続検討
- ・ 中国での MIDI 検定
 日本と同日（12 月 7 日）第 5 回 3 級試験を実施した

(8) 事業委員会

- ・ 企画検討会を 4 回、委員会を 1 回開催
- ・ レコーディングコンテスト及び DAW 普及企画について検討
- ・ DAW 普及企画については、実験的企画を当委員会にて今後立案予定

(9) 広報委員会

- ・ 委員会を 3 回開催し、AMEI News 編集を検討した
- ・ AMEI News を 3 回発行（Vol.35 4 月発行、Vol.36 7 月発行、Vol.37 12 月発行）
- ・ AMEI ホームページ及び MIDI 検定公式ホームページにて適宜情報をアップロードした

MIDI 検定試験受験者の推移(国内)

		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	累計
3級	実施日	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	
		H11 1/17	H12 1/23	H13 1/28	H13 12/16	H14 12/8	H15 12/7	H16 12/5	H17 12/4	H18 12/3	H19 12/2	H20 12/7	
	受験者数	2,964	2,737	2,145	2,009	1,871	1,965	1,742	1,469	1,275	1,051	930	20,158
	(内学校)	1,275	1,591	866	1,040	904	968	917	715	659	526	512	9,973
	合格者数	2,413	1,543	1,536	1,411	1,342	1,460	1,233	1,056	731	729	627	14,081
	合格	81.41	56.38	71.61	70.23	71.73	74.30	70.78	71.89	57.33	69.36	67.42	69.85
2級1次	実施日		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
			H12 5/28	H13 1/13	H13 12/16	H14 12/8	H15 12/7	H16 12/5	H17 12/4	H18 12/3	H19 12/2	H20 12/7	
	受験者数		979	594	587	391	470	404	429	308	247	265	4,674
	合格者数		350	240	290	228	292	108	189	187	162	187	2,233
	合格		35.75	40.40	49.40	58.31	62.13	26.73	44.06	60.71	65.59	70.57	47.77
2級2次	実施日		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
			H12 7/11	H13 3/13	H14 2/9	H15 2/8	H16 2/14	H17 2/11	H18 2/11	H19 2/11	H20 2/16	H21 2/14	
	受験者数		328	295	404	391	387	234	211	202	173	165	2,790
	合格者数		127	64	21	171	37	97	66	74	135	109	901
	合格		38.72	21.69	5.20	43.73	9.56	41.45	31.28	36.63	78.03	66.06	32.29
受験者 計		2,964	4,044	3,034	3,000	2,653	2,822	2,380	1,898	1,583	1,298	1,195	25,676

中国での MIDI 検定 3 級試験推移

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	累計
試験日	2004/12/05	2005/12/04	2006/12/03	2007/12/02	2008/12/07	
試験会場	北京 蘭州 温州 鄭州 天津 (全国5会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 (全 国7会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 青島 (全国8会場)	北京 瀋陽 杭州 無錫 成都 (全国5会場)	北京 沈陽 杭州 无錫 成都 天津 青島 (全国7会場)	
受験者数	112名	252名	144名	128名	119名	755名
合格者数	87名	223名	129名	123名	94名	656名
合格率	77.7%	88.5%	89.6%	96.1%	78.9%	86.8%